

# 14. 市民生活とごみ

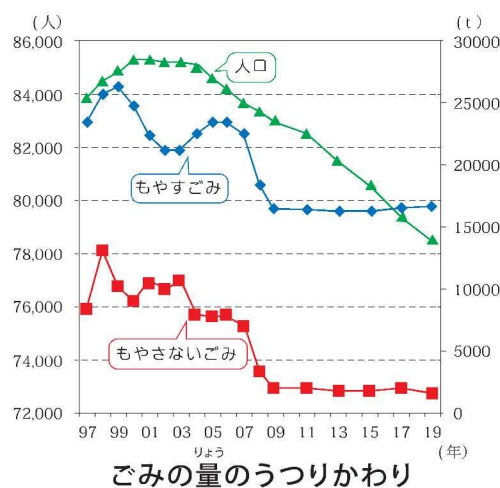


伊賀南部クリーンセンター

ごみステーションには、毎週決まった曜日になると、指定ごみぶくろに入れられたごみが山のように出されます。これらのごみはしゅう集車によって伊賀南部クリーンセンターへ運ばれていきます。

ごみのしゅう集は1970（昭和45）年ごろから始まりました。それまでは、ごみもそれほど多くなかったため、自分の家でもやしたり、うめたりしていました。しかし、人口がふえるにつれてごみの量や種類がふえ、家だけではしよ理できないようになってきました。そこで、名張市では青蓮寺に第1清そう工場をつくり、町の中のごみを集めるようになりました。さらに、人口がふえるとごみの量がますますふえたので、比奈知にも第2清そう工場をつくり、名張市全地区のごみを集めるようになりました。そして、2008（平成20）年、伊賀市に伊賀南部クリーンセンターをつくり全てのごみをしよ理しています。名張市のごみの量は右のグラフのように変わってきています。

グラフを見て、気づいたことを話し合みましょう。



ごみをへらすためにどんな工夫をしていますか。学校や家庭でできることを考えてみましょう。



名張市では、ごみゼロ社会をめざすことを目標に、ごみの量をへらす計画をつくり、実行しています。

2008（平成20）年から開始された指定ごみ袋の有料化、よう器包そうプラスチックのしげん回しゅうにより、もやすごみも、もやさないごみもかなりへりました。

しかし、世界規模で、プラスチックを減らす取り組みが進んでいることから、2020（令和2）年にごみの回収方法をさらに見直しました。ごみの中にはリサイクルできるものがたくさんふくまれているので、さらに工夫する必要があります。名張市では、「4R（よんあーる）」や「19品目の分別」の取り組みを進めています。

## 名張市のごみの分別（19品目）

|            |        |            |         |
|------------|--------|------------|---------|
| 新聞紙        | 雑誌・ざつ紙 | 金属類        | 缶類      |
| 段ボール       | 紙パック   | びん類（無色透明）  | スプレー缶   |
| 繊維類        | ペットボトル | びん類（茶色）    | 蛍光灯・電球  |
| このマークが目印です | 乾電池    | びん類（その他の色） | 体温計・温度計 |
| もやすごみ      | 廃食用油   | 小型家電       |         |
| 粗大ごみ       |        |            |         |
| もやさないごみ    |        |            |         |

※ライターは危険物として資源収集日に回収

